

公益財団法人日本サッカー協会
2026年度 第5回理事会

2026年4月16日

報告事項

1. 技術委員会アドバイザリーボードの設置の件
(報告) 資料 1 技術委員会の諮問機関として「技術委員会アドバイザリーボード」を設置した。
2. 1種ゲーム環境に関するタスクフォース立ち上げの件
1種ゲーム環境に関するタスクフォースを立ち上げた。同タスクフォースでは1種ゲーム環境の将来的なピラミッド構造、カレンダーなどについて検討し、年内を目処に結論を取りまとめる。
3. 男子ナショナルコーチングスタッフ選任の件
(報告) 資料 2 男子ナショナルコーチングスタッフ (SAMURAI BLUE コーチ) に新たに以下の1名を選任した。 氏名：中村 俊輔 (なかむら しゅんすけ)
4. 第35回 FIFA カウンシル会議 (3月19日開催) の件
第35回 FIFA カウンシル会議が3月19日 (スイス時間) にオンラインで開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。 (1) 「FIFA アニュアルレポート 2025」を承認した (2027年から2030年サイクルの収入予算は140億米ドルで過去最高の見込み。FIFA加盟協会は、同期間に、2016年以前と比べて8倍に増額された、サッカー発展を目的とした投資の恩恵を受けることになる。FIFA フォワード助成プログラムへの投資額は過去最高の27億米ドルに達する見込み)。 (2) FIFA 女子ワールドカップ2大会分のホスト決定に関する投票手続きを承認した。 2031年および2035年大会はほかに立候補がないことから、2026年末までに招致提案のプレゼンテーションに特化した臨時総会を開催し、ホストを選定することを決定した。 2031年大会招致立候補国：コスタリカ、ジャマイカ、メキシコ、アメリカ合衆国の共同開催 2035年大会招致立候補国：イングランド、北アイルランド、スコットランド、ウェールズの共同開催 ※2031年大会は、48チームが出場する初の大会となる。 (3) パレスチナサッカー協会からの提案に関する決定を承認した。 第74回 FIFA 総会におけるパレスチナサッカー協会の申し立てを受け、FIFA カウンシルの要請により、FIFA ガバナンス、監査及びコンプライアンス委員会 (GACC) は、パレスチナ領内に本拠を置くことされるイスラエルのサッカーチームによるイスラエルの大会への参加について調査を行い、次の結論に至った。 ① FIFA 規約の関連規定の解釈において、ヨルダン川西岸地区の最終的な法的地位は、国際公法上、未解決かつ極めて複雑な問題であることから、FIFA は措置を講じないものとする。 ② FIFA は実務レベルにおいて、パレスチナサッカー協会とイスラエルサッカー協会との間の対話

を促し、仲介を継続しながら情勢を注視していく。

(4) サッカー界で働く女性のための保護措置を承認した。

ジェンダー平等を推進し、FIFA がサッカー界全体で行っている投資を反映させるため、今後開催される全ての FIFA 女子大会において、監督またはコーチのうち少なくとも 1 名、チームの医療スタッフ 1 名、およびチームベンチにいるオフィシャルのうち 2 名が女性であることを規定する。

(5) FIFA セーフガーディングポリシーを承認した。

あらゆる形態のハラスメントや虐待のないサッカー環境を確保するという FIFA の取り組みをさらに強化することを目的とする。

(6) 「FIFA ASEAN カップ」の創設を承認。第 1 回大会を 2026 年 9 月から 10 月にかけて開催する。

(7) 女子国際ナショナルマッチカレンダーの変更を承認した。

CAF 女子アフリカカップオブネーションズ 2026 の大会日程が 2026 年 7 月 26 日から 8 月 16 日に決定したため、選手招集期間が短縮され、2026 年 7 月 20 日から開始される。

(8) FIFA U-17 女子ワールドカップモロッコ 2026 を 2026 年 10 月 17 日～11 月 7 日に開催する。

5. 第 81 回東アジアサッカー連盟 (EAFF) 理事会 (4 月 4 日開催) の件

第 81 回 EAFF 理事会が 4 月 4 日に韓国・ソウルで開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。

(1) 第 80 回 EAFF 理事会 (2025 年 12 月 3 日／韓国・天安) の議事録を承認した。

(2) 2025 年度決算報告書および監査報告書を承認した。

(3) 2026 年度監査法人の選任を承認した。

(4) 2026 年 EAFF 主催大会の開催日程案を承認した。

(5) EAFF U-15 選手権開催中にインテグリティ研修プログラムを実施することを承認した。

(6) 田嶋幸三元 EAFF 会長を EAFF 名誉役員として推薦することを承認した。

(7) EAFF 規約および EAFF 組織運営規則の改正を報告した。

(8) EAFF U-15 選手権 2025 の実施を報告した。

(9) 東アジア E-1 サッカー選手権 2025 決勝大会 (韓国) において実施されたマーケティング施策を報告した。

(10) 第 14 回 EAFF 総会における理事会メンバーの選挙手続きを報告した。

6. 第 14 回 EAFF 総会 (4 月 4 日開催) の件

第 14 回 EAFF 総会が 4 月 4 日に韓国・ソウルで開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。

(1) 第 6 回 EAFF 臨時総会 (2025 年 7 月 15 日／韓国・水原) の議事録を承認した。

(2) 2025 年度決算報告書および監査報告書を承認した。

(3) 2026 年度 EAFF 予算を承認した。

(4) EAFF 規約の修正案を承認した。

(5) 監査法人の選任を承認した。

(6) 田嶋幸三元 EAFF 会長を EAFF 名誉役員として選任することを承認した。

(7) 2025 年 EAFF 年間事業を報告した。

(8) 2026-2030 年任期の会長、副会長 3 名および女性理事および理事 5 名の選挙を実施し、以下の通り選出した。

会長：Mr. SONG Kai（中国）

副会長：宮本恒靖（日本）

副会長：Mr. Eric Kai Shan FOK（ホンコン・チャイナ）

副会長：Mr. CHUN Hanjin（韓国）

女性理事：Ms. HAN Un Gyong（DPR KOREA）

理事：Mr. WANG Sheau-Shiun（チャイニーズ・タイペイ）

理事：Mr. CHAN Keng Hou（マカオ）

理事：Mr. Anandbazar TSOGT-OCHIR（モンゴル）

理事：Mr. Jerry TAN（北マリアナ諸島）

7. 第 82 回 EAFF 理事会（4 月 4 日開催）の件

第 82 回 EAFF 理事会が 4 月 4 日に韓国・ソウルで開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。

(1) 2027 年から開催予定の EAFF U-17 選手権および EAFF 女子 U-17 選手権について報告した。

(2) 2026-2030 年任期の EAFF 理事会メンバーを承認した。

8. 審判員海外派遣の件

審判員、審判インストラクターの海外派遣は以下の通り。

(1) 審判員 海外派遣

① AFC 女子アジアカップオーストラリア 2026

開催期間：2026 年 3 月 1 日～21 日

場所：オーストラリア／シドニー

審判員：山下良美、小泉朝香、坊菌真琴、一木千広、飯田淳平

② AFC チャンピオンズリーグ TWO 2025/2026 準々決勝 第 1 戦

BANGKOK UNITED（タイ）vs. TAMPINES ROVERS FC（シンガポール）

試合日：2026 年 3 月 5 日

場所：タイ／パトゥムターニー

審判員：谷本涼、浅田武士、武部陽介、笠原寛貴、長峯滉希

③ AFC 女子チャンピオンズリーグ 2025/2026 準決勝

MELBOURNE CITY FC（オーストラリア）vs. PFC NASAF（ウズベキスタン）

試合日：2026 年 3 月 29 日

場所：オーストラリア／メルボルン

審判員：山下良美、坊菌真琴、一木千広

④ AFC アジアカップサウジアラビア 2027 予選最終ラウンド グループ A（MD6）

タジキスタン代表 vs. フィリピン代表

試合日：2026 年 3 月 31 日

場所：タジキスタン／ヒサール

審判員：笠原寛貴、浅田武士、武部陽介、長峯滉希

(2) インストラクター・アセッサー海外派遣

① AFC 女子アジアカップオーストラリア 2026

開催期間 : 2026 年 3 月 1 日～21 日

場所 : オーストラリア/シドニー

アセッサー : 山岸佐知子

② AFC 女子チャンピオンズリーグ 2025/2026 準決勝

NAEGOHYANG WOMEN'S FC (DPR KOREA) vs. HO CHI MINH CITY WOMEN'S FC (ベトナム)

試合日 : 2026 年 3 月 28 日

場所 : ラオス/ヴィエンチャン

アセッサー : 手代木直美

③ AFC アジアカップサウジアラビア 2027 予選最終ラウンド グループ D (MD6)

チャイニーズ・タイペイ代表 vs. スリランカ代表

試合日 : 2026 年 3 月 31 日

場所 : チャイニーズ・タイペイ/台北

アセッサー : 上川徹

9. 競技会開催申請の件

(1) 申請団体 : 一般財団法人静岡県サッカー協会

大会名 : ジュビロ U-12 国際サッカー大会 2026

主催 : 一般財団法人静岡県サッカー協会、株式会社ジュビロ

協賛 : ヤマハ発動機他

開催期日 : 2026 年 4 月 2 日～4 日

会場 : 静岡県/磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場、エコパ補助競技場

参加チーム : 国内チーム 10 チーム、外国チーム 2 チーム

(2) 申請団体 : 一般社団法人兵庫県サッカー協会

大会名 : 兵庫ユースサッカーフェスティバル 2026

主催 : 一般社団法人兵庫県サッカー協会

開催期日 : 2026 年 3 月 20 日～22 日

会場 : 兵庫県/三木防災公園第 2 陸上競技場

参加チーム : ヴィッセル神戸 U-18B、兵庫県トレセン U-17、サガン鳥栖 U-18B、
京畿道 FC (韓国)

(3) 申請団体 : 一般財団法人岐阜県サッカー協会

大会名 : 第 31 回岐阜長良川サッカーフェスティバル

主催 : ぎふスポーツフェア 2026 実行委員会、一般財団法人岐阜県サッカー協会

主管 : 一般財団法人岐阜県サッカー協会

開催期日 : 2026 年 5 月 3 日～ 6 日

会場 : 岐阜県/新日本ガス球技メドウ

参加チーム : 岐阜県国スポ少年男女、富山県国スポ少年男女、高知県国スポ少年男子、和歌山
県国スポ少年女子、SEOUL FOOTBALL A (韓国)

10. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件

申請者（施設所有者）：浦安市
施設名：浦安市運動公園陸上競技場人工芝グラウンド（千葉県浦安市舞浜 2-27）
使用製品：奥アンツーカ株式会社フィールドターフ・レボリューション FTRV-1
公認期間：2026年2月12日～ 2027年2月11日
公認番号：第171号

11. 名義使用申請の件

- (1) 申請団体：さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会、さいたま市サッカー協会
行事名称：SAITAMA GIRLS MATCH 2026
場所：浦和駒場スタジアム、レッズハートフルフィールド駒場、八王子スポーツ施設、堀崎公園グラウンド、さいたま市立浦和南高等学校グラウンド
事業期間：2026年5月3日～2026年5月5日
名義の種類：後援
主催：さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会
共催：さいたま市
後援：公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ、公益財団法人埼玉県サッカー協会、公益財団法人さいたま市スポーツ協会、一般社団法人さいたまスポーツコミッション、さいたま市教育委員会
目的：本大会は女子サッカーに取り組む中学生年代を対象とし、浦和駒場スタジアムを中心とするさいたま市内の会場で試合を開催。多くの仲間や関係者との交流を通じてサッカーの素晴らしさやその可能性を体験することで、技術の向上と女子サッカーの普及拡大を図ることを目的とする。
行事の概要：関東近県（埼玉県、東京都、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県）および宮城県のWE リーグ所属チーム U-15 チームを含むクラブチーム所属選手、コーチ等を対象とし、選手、コーチ計 550 名程度の参加を見込む女子サッカーの大会
- (2) 申請団体：法務省
事業名称：第45回全国中学生人権作文コンテスト
名義の種類：後援
主催：法務省、全国人権擁護委員連合会
後援：文部科学省、一般社団法人日本新聞協会、日本放送協会、公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本バスケットボール協会（予定）
協賛：公益財団法人人権教育啓発推進センター、公益財団法人人権擁護協力会
目的：次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けること、また、入賞作文を国民に周知することによって、広く一般に人権尊重思想を根付かせることを目的とする。
- (3) 申請団体：株式会社 LDH JAPAN/EXILE CUP 事務局
行事名称：EXILE CUP 2026

場所 : 全国 9 地域・愛媛県今治市
事業期間 : 2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日
名義の種類 : 後援
主催 : 株式会社 LDH JAPAN/EXILE CUP 事務局
共催 : 調整中
特別協賛 : 株式会社 LDH JAPAN
協賛 : 調整中
後援 : 公益財団法人日本サッカー協会
主管 : 開催地都道府県サッカー協会
行事の概要 : 本大会は、2010 年の FIFA ワールドカップ南アフリカ大会において、LDH JAPAN が SAMURAI BLUE (日本代表) の応援ソングを制作したことを機に、JFA との連携の下に開始。また、LDH JAPAN の社会貢献の思いと JFA の普及・育成の理念が合致していることから、良好なコミュニケーションの下で連携しながら継続的に開催している。サッカー・フットサルを通じて全国の子どもたちに夢と挑戦の機会を届け、生涯にわたってスポーツに親しむ機会を創出することを目的としている。

- (4) 申請団体 : 公益財団法人日本スポーツ協会
事業名称 : 第 30 回 日韓青少年夏季スポーツ交流
場所 : 三重県、韓国／大田広域市
事業期間 : 2026 年 8 月 2 日～2026 年 8 月 21 日
名義の種類 : 共催
主催 : 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人三重県スポーツ協会、公益財団法人兵庫県スポーツ協会
共催 : 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本バレーボール協会、公益財団法人日本バスケットボール協会、公益財団法人日本卓球協会、公益財団法人日本バドミントン協会、公益財団法人日本中学校体育連盟
後援 : 三重県、兵庫県、津市、鈴鹿市、四日市市、三重県教育委員会、津市教育委員会、鈴鹿市教育委員会、四日市市教育委員会、三重県中学校体育連盟、兵庫県教育委員会、兵庫県中学校体育連盟
行事の概要 : 日本と韓国の小・中学生が夏休み期間、スポーツを通して互いの国を訪問し、同年代の仲間たちと友情を育むもの。1997 年に始まり、これまで日韓両国から 8,000 人を超える小・中学生が、スポーツ活動はもちろん、レクリエーションや文化探訪などを体験し、交流した。

(参考) 競技種目 : サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン

※派遣 期間 : 2026 年 8 月 2 日～2026 年 8 月 7 日

会場 : 韓国／大田広域市

参加者 : 日本選手団 218 名

※受入 期間 : 2026 年 8 月 16 日～2026 年 8 月 21 日

会場 : 三重県

参加者 : 日本選手団 218 名、韓国選手団 218 名